北海道倶楽部
毎月1回1日発行　定価80円
公益社団法人北海道倶楽部
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所1 階
TEL 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022
E-mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp/

We Love Hokkaido 北海道 "NOW" KITAKARA

北海道情報紙 知らないこといっぱい！！

第56回交流イベント開く

鈴木知事、秋元札幌市長ら出席

村長川会「みんなで北海道を元気づけよう」

北海道倶楽部が進める北方領土早期返還など、北海道応援キャンペーンの周知を図るとともに、会員らが親睦を深める「第56回交流イベント」が10月29日夜、東京・元赤坂の明治記念館で開かれた。川村隆会長は「北海道を元気づけるために、倶楽部も頑張りたい」と述べ、積極的な支援を約束した。

イベントには約300人が出席。鈴木直道知事、秋元克広・札幌市長、道内選出の国会議員らも顔を見せた。また、国土交通省関係者のほか、北方領土隣接地の根室振興局は会場にブースを出し、四島早期の返還を訴える一方、地元産品をPRした。

会場には、ビザなし交流で北方四島を訪れた会員が撮影した写真の展示コーナーも。

あいさつに立った鈴木知事は「ほっかいどう応援団会議を立ち上げたが、倶楽部は早速、その一員になってくれた。領土運動では自ら先頭に立つので、倶楽部は応援を」とアピール。

秋元市長は「東京五輪のマラソンなどについて、札幌市はしっかりサポートしたい。招致を目指す2030冬季五輪、パラリンピックは、知事とタッグを組んで実現を目指す」と決意を表明した。

この後、倶楽部役員が壇上に並び、村上隆男理事長の発声で乾杯し懇親に。舞台では、秋元市長がトップを務めるパシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）の若手演奏家4人が、クラシックなどを披露した。

人気の福引抽選会では、例年通り有名ホテルの宿泊券、レストランお食事券、東京ー札幌間往復航空券など多数の景品を用意。豪華景品が当たると、会場から歓声とため息が交錯した。

協賛社は下記の通り。

村上理事長の発声で乾杯する倶楽部役員

第56回交流イベントご協賛企業ありがとうございました（敬称略）。

北海道池田町ブドウ・ブドウ酒研究所
石屋製菓株式会社
岩倉建設株式会社
岩田醸造株式会社
岩田地崎建設株式会社
エア・ウォーター株式会社
株式会社A-RDO
有限会社大野商事
関東商事株式会社
菊池食品工業株式会社
株式会社北見ハッカ通商
株式会社グランビスタホテル&リゾート
栗林商船株式会社
株式会社栗林商会
株式会社京王プラザホテル札幌
公益財団法人札幌交響楽団
札幌通運株式会社
札幌テレビ放送株式会社
サッポロホールディングス株式会社
サッポロビール株式会社
清水鋼鐵株式会社
石油資源開発株式会社
株式会社ソシエテミクニ
株式会社竹中工務店
地崎道路株式会社
東京美装興業株式会社
株式会社
株式会社東洋実業
十勝毎日新聞社
ナラサキ産業株式会社
ニッカウヰスキー株式会社
日本製粉株式会社
日本甜菜製糖株式会社
株式会社ニトリホールディングス
ニュー・オータニ
野口観光株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社北洋銀行
ホクレン農業協同組合連合会
株式会社北海道銀行
株式会社北海道新聞社
北海道テレビ放送株式会社
株式会社北海道日本ハムファイターズ
北海道フードフロンティア株式会社
北海道文化放送株式会社
北海道放送株式会社
北海道旅客鉄道株式会社
北海道ワイン株式会社
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
ホッカンホールディングス株式会社
三ツ輪運輸株式会社
無臭元工業株式会社
株式会社明治
明治記念館
雪印メグミルク株式会社
株式会社読売ーS
株式会社レストラン・ユック
公益財団法人PMF組織委員会
NPO法人住んでみたい北海道推進会議
根室市
北海道根室振興局

※協賛品、協賛金の御協賛企業を記載しております。その他にもたくさんのご協力を頂きました。ありがとうございます。

お詫び

第56回交流イベントで景品が当たる抽選券の発行数に不足がございました。ここに深くお詫び申し上げます。

鈴木知事招き 倶楽部講演会

今後の政策展開など語る

講演する鈴木知事

北海道倶楽部主催の特別講演会が11月19日、東京・千代田区のアイオス永田町で開かれ、講師の鈴木直道・北海道知事は、就任以来7カ月の取り組みや、今後の政策展開などについて熱っぽく語った。この中で、知事は北海道支援のため立ち上げた「ほっかいどう応援団会議」について、「すでに約300の企業・団体がメンバーになっている」と述べ、支援の受け皿として、強い期待を表明した。

「挑戦の大地・北海道」と題した講演で知事はまず、来年の東京五輪マラソン、競歩の札幌開催について言及。「札幌のマラソンコースについて、いろいろ指摘されているが、決まった以上、市と協力して札幌の魅力を発信していきたい。道民の底力を世界に示す機会だ」と、成功に全力を挙げる決意を強調した。

続いて、就任以来の「成果」などを披露。日ロ知事会議でモスクワを訪問、領土問題の解決を訴えたほか、「北海道どさんこプラザ」のシンガポール2号店に出向き、その機会を利用して航空路線の誘致を要請したことなどを紹介した。

「スクラムトーク」「直道カフェ」と銘打ち、農水産業などの若者たちと交流したことも。「礼文町（宗谷管内）では最北のタピオカを作っている。発想とともに実践が大事で、道、市町村がバックアップしていくことが重要だ」などと力を込めた。

2030年に向けたロードマップを巡っては、道内7空港の一括民営化を挙げ、国内線2671万人、国際線380万人を達成したいなどと強調。「アジア以外の欧米路線の就航にも力を入れたい」と話した。

また、30年の札幌冬季五輪招致を実現するほか、30年度末に予定されている北海道新幹線の札幌開業を「何とか前倒ししたい」と意欲を見せた。

12月18日に理事、評議員会

今年最後の理事会、評議員会は、12月18日（水）午後6時から東京・東新橋の「銀座ライオン汐留店」で開かれる。

来期の懸案などを話し合ったあと、理事、評議員が会食しながら懇親する。会費は6000円。

★北海道倶楽部会報は、北海道新聞社から記事、写真の協力を得て、作成しています。

北海寮・塚越理事長死去

北海寮を運営する公益財団法人・北海道在京学生後援会（北海道倶楽部会員）の塚越孝平理事長が、10月10日、病気のため東京都内で死去した。71歳だった。

塚越氏は後志管内倶知安町出身、法政大卒。自らも大学生活を北海寮でおくり、1970年卒寮した。80年からは財団の理事、常務理事などを務め、2012年から現在まで理事長。倶楽部会員としても積極的にイベントなどに参加した。

寮生は10月12日、全員で黙とうを捧げ、塚越理事長の冥福を祈った。

知事エッセー ～オホーツク管内で～

北海道知事の鈴木直道です。今月は、オホーツク管内の西興部村、紋別市についてご紹介します。

西興部村では、「オホーツク楽器工業株式会社」を訪問しました。ここは、世界屈指のエレキギターメーカー「フジゲン株式会社」のギターボディを生産している日本でも有数の規模を誇るギター工場で、ギターをこよなく愛する多くの若い方々が働き、皆さんの丹念な作業によってつやのある美しい流線型に仕上がっていく工程を拝見しました。若い方々が活き活きと地域で働き、過疎化の進行に歯止めをかけている、貴重な企業でもあり、若者の定住や移住の推進の視点からも、道では、このような企業立地が各地にも拡げられるよう、企業の誘致などに取り組んでまいります。

続いて、北海道防災総合訓練で紋別市の生涯学習センターを訪問しました。訓練には道民の方々も含めて約250名が参加し、昨年9月に発生した北海道胆振東部地震での経験をもとに、停電を想定した避難所の開設や支援物資の受入れ、段ボールベッドの組立て、炊き出し、災害用トイレ体験など避難所の運営のほか、燃料輸送を行いました。道民の皆様の安全・安心の確保に向け、こうした実践的な訓練の積み重ねと暮らしの中でも防災を意識していただけるような啓発活動などを通じ、本道の防災力強化を進めます。

「ふるさとの本」ご案内 北海道新聞社

南の島に夢を描いて
落選町長のボランティア奮闘記

落選の憂き目にあった元町長が、ボランティアを志して南国バヌアツへ。ヒト・モノ・カネの不足や文化の違いに戸惑いながらも、まちづくりに汗を流し、挫折から立ち直っていく日々をつづる。

◆ 川口孝太郎 著
四六判 224頁 定価1540円

続・北海道おいしいそばの店

「一度は食べてみたいそば店」を紹介したガイドブック待望の第二弾。第一弾で紹介できなかった店のほか、早くて安くておいしい駅そばや立ち食いそばも掲載。個性豊かな104軒を紹介。

◆ 梅村敦子 著
A5判 136頁 定価1650円

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 ☎011-210-5744（出版センター）
受付 9：30～17：30（土日・祝日除く）お求めは書店、インターネットで。
出版センターにお電話いただければ直接手配もいたします（代引き・送料別途）。

新年交礼会　令和2年1月24日（金）午後6時　ホテルニューオータニ　会費1万円　申込はFAXの申込書をご利用下さい。